

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この時計を末永くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。
 なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、次の表示で区分されている内容につきましては必ずお守りください。

△危険...この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「死または重傷などを負う差し迫った危険が想定される」内容です。

△警告...この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「死または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

△注意...この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

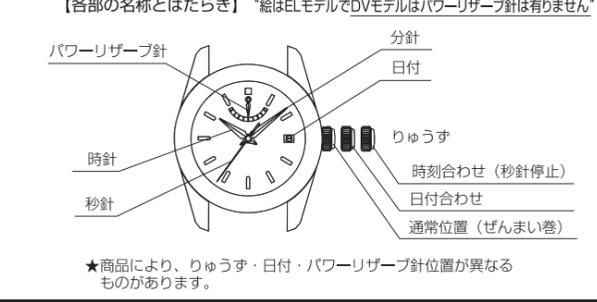
- ◆製品の特徴
- ①この時計は、自動巻き（手巻き付）機械時計です。
 - ②時刻表示の他に、日付、パワーリザーブインジケータ（ELのみ）が付いています。
 - ③秒針停止装置が付いています。
 - ④てんぷを衝撃から守る、防震軸受を使用しています。

◆製品仕様

キャリアー	自動巻き	手巻き	手巻き（全巻き）のりゅうす回転回数	振動数	石数	精度日差	持続時間	日付	パワーリザーブインジケータ
EL(40N)	○	○	約20回転	21,600振動/時間	22石	+25秒~-15秒	40時間以上	○	○
DV(407)	○	○	約20回転	21,600振動/時間	22石	+25秒~-15秒	40時間以上	○	×

※製品仕様はキャリアーNo.によって異なります。キャリアーNo.はケース裏蓋に刻印されています。ケースNo.、上2桁をご参照ください。
 例 ケースNo. EL00-C0
 ↓
 上2桁

※精度日差は室温において、ぜんまいを全巻きにし、文字板上で静置した状態で、24時間経過した時の進み・遅れです。
 ※自動巻き機械時計の特性上、ご使用になる条件（携帯時間・時計の姿勢・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ具合等）によっては、精度日差の範囲を超える場合があります。
 ※製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。



【ねじロック式りゅうすモデルの場合】
 商品によっては、りゅうすをケースにねじ込むことでロック（固定）できる構造のモデルがあります。
 このタイプの時計については、次の操作方法を行ってください。

- ①ぜんまい巻（手巻き）およびカレンダー、時刻合わせ時は、先にりゅうすを左に回し、ねじを緩めてから行ってください。
- ②ぜんまい巻（手巻き）およびカレンダー、時刻合わせ終了後は、りゅうすを押しながら右に回し、ねじが止まるころまでしっかり締め込んでください。

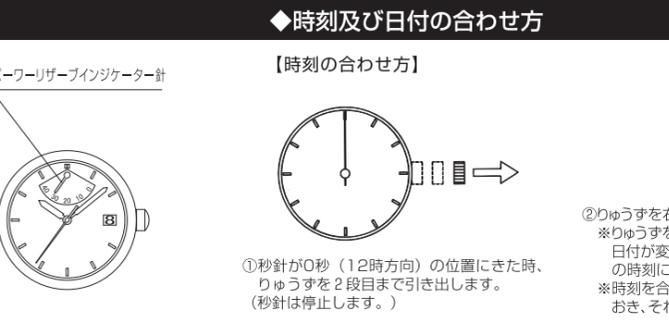
◆自動巻（手巻き）機構について

- ①この時計は自動巻き（手巻き付）機械時計です。
- ②ぜんまいは時計を腕に付けている間、腕の動きで自然に巻き上げることができます。又、りゅうすを回してぜんまいを巻くこともできます。
- ③止まっている時計をご使用になるときは、時計を振るか、りゅうすを回してぜんまいを巻いて始動させてください。秒針が動き出したらカレンダー、時刻を合わせてください。
- ④ぜんまいを巻く際にはりゅうすを通常位置で右（時計回り）にゆっくり回してください。なお、りゅうすは左（反時計回り）に回すと空回りするようになっています。止まっている状態からは、りゅうすを約20回転させれば十分に巻き上げることができます。巻き上げが完了してりゅうすは回ります。上記回数またはパワーリザーブインジケータの目盛りを目安に巻いてください。
- ⑤この時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で約40時間動き続けます。ぜんまいの巻き上げが不足すると進み・遅れの原因になります。巻き上げを十分にに行い、精度を保つためにも1日8時間以上携帯することをオススメします。

◆パワーリザーブインジケータ

パワーリザーブインジケータとは、ぜんまいの巻き上げ状態を時間で示し、残り駆動時間がひと目で解かる機能です。ぜんまいの巻き上げ残量の表示はパワーリザーブ針によって表示していますので、針の指す時間が巻き上げ残量時間です。
 ※このぜんまいの巻き上げ残量時間はあくまでも目安です。表示の時間と実際の残量時間には差がありますので予めご了承ください。

本製品は自動巻の製品にパワーリザーブインジケータ機能を備えていますので、腕に付けている間は腕の動きにより、ぜんまいが常に巻き上げられ、パワーリザーブ針の表示は全巻き（40H）方向を表示しています。
 なお、腕の動きによりぜんまいの巻き上げ量は異なりますので、常に全巻き方向を表示しているとは限りませんのでご了承ください。腕から外し、ぜんまいを巻き上げずに放置した場合は、時間の経過とともにパワーリザーブ針の表示はゼロ方向へと移動します。
 又、本製品は手巻き機構が付いているので、りゅうすを回してぜんまいを巻くことによりパワーリザーブ針は全巻（40H）方向に移動します。



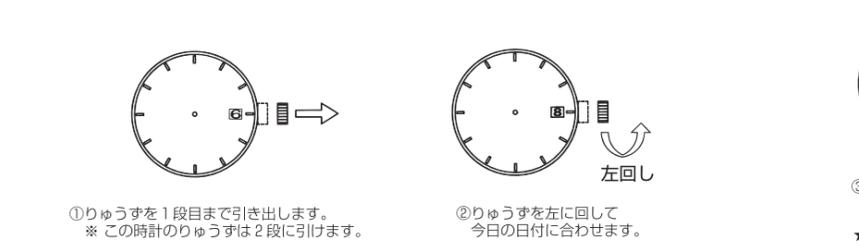
◆回転ベゼルの使い方

商品によっては、回転ベゼル付きのモデルがありますので、お買い求めの時計をご確認の上、正しくご使用ください。回転ベゼルの回し、マーカーを分針に合わせることで、ある時間が経過した後分針の示す回転ベゼルの数字を読むことにより、経過時間を知ることができます。又、目的時刻に合わせておくことにより、残り時間を知ることができます。回転ベゼルの逆回転防止機構の付いた、ラチェット装置が付いているので、ショックによる不用意な回転防止し、又目盛りのセットがしやすくなっています。

上図は、10時10分から20分経過したことを示しています。

【日付の合わせ方】

△注意
 ※次の時間帯を針が示している時は日付の切替え作動中となりますので日付合は避けてください。
午後10時～午前2時
 この時間帯に日付合わせをしますと、翌日になっても日付が変わらないことがあります。
 ※日付合わせを行う場合は、この時間帯に針を移動させてから行ってください。



◆お取り扱いにあたって

(1) 防水性能について

△警告

①日常生活用防水（3気圧）の時計は、洗顔等には使用できませんが、水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
 ②日常生活用強化防水I（5気圧）の時計は、水泳などには使用できますが、スキューバダイビングを含めて全ての潜水には使用できません。
 ③日常生活用強化防水II（10気圧）の時計は、スキューバダイビング（素潜り）には使用できますが、空気がパンベを使用するスキューバ潜水及びヘリウムガスを使用する飽和潜水などには、使用できません。

状況	使用条件	表示（文字板または裏蓋）の表示は	
		WATER RESIST(ANT)	WATER RESIST(ANT)
日常生活用防水	日常生活用強化防水I	日常生活用強化防水II	日常生活用強化防水II
日常生活用強化防水I	日常生活用強化防水II	日常生活用強化防水II	日常生活用強化防水II
日常生活用強化防水II	日常生活用強化防水II	日常生活用強化防水II	日常生活用強化防水II
潜水時計	1種 空気潜水用	2種 飽和潜水用	
	AIR DIVER'S 100m/150m/200m	He-GAS DIVER'S 200m/300m/...	

WATER RESIST(ANT) **barは、W. R. **barと表示している場合があります。
 ※時計の文字板または裏蓋にある防水性能表示をご確認の上、上記使用範囲にそって正しくご使用ください。

(2) ショックについて

①ゴルフなどの軽スポーツによる影響はありませんが、激しいスポーツの場合は取り外して下さい。
 ②床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

(3) 磁気について

①家庭用電気製品程度の磁気には心配ありません。
△注意
 ②磁石、磁気健康器具（肩こり治療器・腕輪など）、電気マッサージ台などの強い磁気が発生するものには、近づけないでください。
 ③時計にANTIMAG. IまたはANTIMAG. IIと表示している時計は磁気に耐えられる性質を強化してあります。表示と耐えられる磁界の強さは以下の通りです。
 ●ANTIMAG. I... 4,800A/m（60ガウス）
 ●ANTIMAG. II... 16,000A/m（200ガウス）
 ④強い磁気が発生する所に長時間放置しますと部品が磁化して、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。
 ⑤磁気の影響を受けると一時的な進み遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。この場合は時刻を修正してください。

(4) 振動について

強い振動を加えないでください。時計の進み・遅れの原因になります。（注：場合調整修理が必要になります。）

(5) 温度について

常温＜5℃～35℃＞から外れた環境では、機能が低下したり停止する場合があります。

(6) 化学薬品・ガスなどについて

ガス、水銀、化学薬品など（シナナー・ガソリン・各種溶剤、またそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）に触れるとケース、バンド、文字板の変色や樹脂部品では、変色、変形、破損する場合がありますので十分ご注意ください。

(7) 商品及び付属部品について

△注意
 ①商品の分解・改造はしないでください。
△警告
 ②バンドやピン等は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。

(8) 高温下での使用

△注意
 サウナなどの高温下での装着は、火ぶくれ（火傷）になる可能性がありますので、ご使用をお避けください。

(9) 高湿度での使用

△注意
 体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチック・ウレタンなどにて皮膚がかぶれたり、肌と異常が認められたときは、直ちに使用を中止し、専門医にご相談ください。

◆かぶれやアレルギーについて ◆ルミナスライトについて ◆防水処理バンドについて ◆銀製品について

商品によっては、汗や水に触れても吸収しにくい特殊な処理を施した皮革・ナイロンバンドを使用しているものがあります。このバンドの防水性は使用期間・使用条件により、効果が劣化しますのでご了承ください。

商品によっては、ケース・バンドが銀および銀メッキのものがあります。銀の性質として、酸化物・硫化物（空気中や人体老廃物など、身の回りに多く存在します）と反応して表面の色合いが黒く変色します。このような場合は、銀製品用クロスで拭いて下さい。元の色合いに戻ります。

⑥発生する磁気の高さは表を参考にしてください。

●車の周りの電気製品、電気製品の磁界の強さ

製品名	境界の強さ(単位:A/m)		境界の強さ(単位:A/m)	
	前	定	前	定
紙止め用磁石(DC)	23,500~71,800 (300~900ガウス)	×	200~1,200 (2.4~15.7ガウス)	○
テレビ(AC-DC)	600~1,200 (6~15.7ガウス)	○	0~400 (0~5.0ガウス)	○
冷蔵庫の開閉部磁石(DC)	31,800~63,700 (400~800ガウス)	×	400~3,200 (5~40.7ガウス)	○
電話機のスピーカ一部(DC)	2,400~3,600 (30~45.7ガウス)	○	300~400 (4~5.0ガウス)	○
電気カミソリ(AC)	6,400~11,800 (80~150ガウス)	×	400~800 (4~10ガウス)	○
音響製品のスピーカ一部(DC)	6900~20,000 (87~250ガウス)	△	0~3,200 (0~40.7ガウス)	○
各種家具の開閉部磁石(DC)	47,800~63,700 (600~800ガウス)	×	800~1,200 (10~15.7ガウス)	○
磁気ヘッド(DC)	47,800~119,400 (600~1,500ガウス)	×	0 (0ガウス)	○
磁気ヘッド(DC)	63,700~95,500 (800~1,200ガウス)	×	0~400 (0~5.0ガウス)	○
磁気ヘッド(DC)	800~1,200ガウス)	×	0~240 (0~3.0ガウス)	○
ハンドバッグの開閉部磁石(DC)	28,700~63,700 (360~800ガウス)	×	0 (0ガウス)	○

※判定の○は影響無し、×は影響有り、△は製品・機種によって異なります。
 ※上表の数値は目安です。境界の強さは磁気製品、電気製品の機種により強弱が異なります。
 ※磁界の強さは磁石の中心に計測していますので、磁石の中心から離れた位置での数値は大きく異なります。

◆長くご愛用いただくために

△注意

(1) ケース・バンドのお手入れ

①ケース・バンドなどに付着した汚れや水分は時計機能を損なったり、皮膚の弱い部分のかぶれや袖口を汚す原因となる場合があります。柔らかい布などで拭き常に清潔にしておいてください。特にバンドは直接肌に接していますので、定期的な汚れを取り除き、ご使用ください。

【ウレタン】
 汚れや水分をそのままにしておきますと、腐食、サビの原因となります。防水性を下げる原因となります。柔らかい布などで拭き取ってください。薬品などは変色の原因となりますので、使用しないでください。
 【金属バンド】
 汚れや水分をそのままにしておきますと腐食、サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げる原因となります。また、袖口を汚す原因となります。石鹸水や付けた柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。この時、非防水時計は水が時計本体にからないように注意してください。
 【皮革バンド】
 汚れや水分が落ちてくる場合があります。バンドの耐久性を下げる原因にもなります。又、袖口を汚す原因となります。乾いた柔らかい布で、汚れや水分を取り除いてください。こすると変色することがありますのでご注意ください。強い光、紫外線をあてると、変色の原因となります。
 【軟質プラスチックバンド】
 ウレタン・ナイロンなどのバンドは、汚れがひどくなりますと皮膚のかぶれの原因となる場合があります。時々石鹸水又は水で洗ってください。薬品、化粧品などは変質、割れ、サビの原因となりますのでご使用にならないでください。また使用期間によっては、材質が硬くなり、折れたり割れたりする場合がありますので、その際は新しいバンドと交換してください。
 ②ケース及びバンドに水銀（体温計など）、薬品、化粧品などが付着すると変色する場合がありますのでご注意ください。
 ③バンドは指1本が入る程度の余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。又、皮革バンドは高温多湿になる場所での保管は避けてください。
 ④ケースとバンドとの接合部や金属バンドの駒の接合部に使用

しているピンが錆びると、バンドが外れた時時計が脱落したり、稀に怪しむ原因にもなります。定期的な分解掃除を行うことで、内部ムーブメントの保油状態の確認、乾燥の防止、機械部品の異常磨耗などを未然に防ぎ、精度を維持することが出来ます。又、防水性能は部品が劣化することにより損なわれますので、分解掃除や電池交換と合わせてバックアップの交換をご依頼ください。
 ⑤定期点検（有償）はご購入店又はウオッチ・ウェアラブル修理センターにお申し付けください。ご購入店にご依頼される際は「純正部品」とご指定の上、バックアップは棒の交換も合わせてご依頼ください。

◆保証とサービスについて

※保証書は必ずお読みください。

1. 保証について
 本製品が保証期間内に取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万が一故障が生じた場合には、保証書に従い無償で修理・調整いたします。保証書を添えてお買い上げ店又はウオッチ・ウェアラブル修理センターにご相談ください。保証内容は保証書に記載されていますので必ずお読みください。
2. 補修用部品の保有期間について
 この時計の補修用部品の保有年数は、生産終了後通常7年間を基準としています。
 ※補修用部品とは、製品（時計）内部の時間機能のための機械体（ムーブメント）の部品です。
 ケース・ガラス・文字板・針・バンド・りゅうすなど製品の機能維持と直接関係がない外装部品は含まれておりません。これらの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただきますので、予めご了承ください。
3. 修理可能期間について

原則として、正常なご使用であれば補修用部品の保有期間中の修理は可能です。ただし、修理可能時期は、ご使用条件・環境で著しく異なる時、時計の状態によっては初期精度の復元が困難な場合がありますので、修理ご依頼の際には、現品持参の上、ご購入店とよくご相談ください。

4. 転居・ご贈答品の場合について
 ご転居・ご贈答品などで、ご購入店が遠隔地となり、保証サービスが受けられない場合にはお客様相談室にご相談ください。
5. 商品に関するお問い合わせについて
 商品に関するお問い合わせは、お客様相談室へお問い合わせください。
<http://www.orient-watch.jp/support/repair/>
6. その他のお問い合わせについて
 その他の保証とサービスについてご不明の点がありましたら、お客様相談室へお問い合わせください。

【電話でのお問い合わせ先】

●お客様相談室
 TEL: (042) 847-3380 09:30~17:00 月曜日~金曜日(祝日、弊社指定の休日は除く)

●修理品の送り先
 ●ウオッチ・ウェアラブル修理センター
 〒191-8501 東京都日野市日野421-8 セイコーエフソン(株)
 TEL: (042) 847-3378 FAX: (042) 847-3381 09:30~17:00 月曜日~金曜日(祝日、弊社指定の休日は除く)

【持込修理】
 修理センターへのお持ち込みによる修理受付は承っております。
 修理のご相談はお買い上げの販売店、若しくはお客様相談室へご相談ください。

【ホームページによる最新情報のご確認】
<http://www.orient-watch.jp/support/repair/>

【保証責任者】
セイコー販売株式会社
 販売元：セイコー販売株式会社
 本社/〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー
 TEL: (03) 5915-5211
保証責任者
セイコーエフソン株式会社
 本社/〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
 TEL: (0266) 52-3131